

刊夕日六十月四



定価 一部全五紙一ヶ月五拾銭 郵費五拾銭
 廣告料 五紙一ヶ月一圓五拾銭 一ヶ月一圓
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常盤町日新報社
 電話 六三〇
 印刷所 常盤町日新報社

青年よ志大なれ

平町青年團 N 生

人間は不斷に反省と價值批判とを怠つてはならぬ、ギリシヤの哲人プロタゴラスは叫んだ「人間は萬物の尺度なり」と彼は人間の偉大性を信じたさうして如何なる神祕の扉も人間に依つて開かれ得ると、人間性の絶對權威を宣言した「此の世の最も尊きものは御空に輝く星と我が心の道德律」とカントは更に人間理性の尊さを強調した。

機械の如く働き、獸の如く生活するには人生はあまりに尊過ぎる。
 人生は、目的の追求でなく、價値の體驗である、此に人間は必然、唯物史解から去つて理想主義に來らねばならぬ、そこにのみ人間性の努力と精進に對する謳歌がある。

百代の師、孔子の遺業を見よ、東奔西走、七十三にして卒するまで、彼は眞に道の爲に天を怨まず、人とがめず、下學して上達する事を忘れなかつた。
 論語に彼は言ふ「甚しいかな、吾が衰ふるや、久しいかな吾れ亦、夢に周公を見ず」と。
 夢にまで、盛時の志す所の

の周公の道を天下に行はんと苦悶した老聖者の高遠なる理想、吾々はその前に襟を正さざるを得ない。
 更に俳聖芭蕉に至つては「きのふの發句は今日の辭世、今日の發句はあすの辭世、我生涯云捨し句々一句として辭世ならざるなし」と、眞劍そのものゝ人間生活を喝破し、死の刹那に於いても、旅に病みて、夢は枯野をかけためぐる、と歌はざるを得なかつた。
 彼の求めた夢が、理想か如何に時代の人心に大なる轉向を與へたか、人々は人間の造り出した藝術を至上して、かくまで叫ぶ「人生は短く、藝術は長し」と。
 人類文化發展史の根底を培ふものは實に理想である理想に依り人間は向上し、社會は圓滿なる發展をとげ、人間として明日への光明を願はぬ者はあるまい。
 安心立命と生活指導の指針は「理想主義を置いて他になし」。
 現代人は理想を忘れてゐる、獨立自尊自立自營への意志の陶冶を忘れてゐる、個人生命の謳歌を忘れてゐる、そこに青年の墮落がある、時代の窮乏がある。
 青年よ、志大なれ、次の双肩にある、何處までも國家百年の大計の爲に、永遠の理想を樹立せよ、そして邁進せよ。
 青年よ、志大なれ、徒らに時流の浮薄に走りて、マルキストをして「汝の國の將來」をトせしむることなかれ。(をばり)

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
 電話一〇番

市原醫院

平町 田町
 電話一四四番

お花見は!!!

公園の「ときわ」へ……
 外でも内でも御自由に出來ます

料理・折詰
 仕出し
 とさきわ
 電話二二六

門 專
 婦 産
 人 科 科
 花 柳 病 科
 ◎入院應需

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

鹽豚販賣開始

三二三屋
 平町田町

御入學御祝に……

正確本位のクローム腕時計をおすゝめ致します
 學生特價
 奉仕品 5・50 6・00 6・50 7・00 7・50
 蓄音器部
 春の朗らかな夜に家庭平和を斗る蓄音器を……
 四月新譜の内(コロムビア)
 軍事小唄(壺塚の唄 從軍記者の唄 鐵道歌 鐵道小唄)

平町五丁目(電話一九五)
 道省鐵用 金光堂時計店 蓄音器部

旭硝子株式會社製品 板ガラス

製造 硝子 食器
 賣販 菓子 壺
 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
 ◇支工場 仙臺市榮町 電話五九七番

●小兒下痢一切小兒腸胃散 ●堀藥局 平町二丁目 電話三二六番

謹告

本月十八日縣社子鐵倉神社大祭當日ハ例年ノ通り謹而休業仕候
 但日本銀行並ニ縣金庫事務ハ平常ノ通り取扱申候
 平町銀行組合

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器
 志賀齒科醫院
 福島縣平町五ノ廿八
 約卸 治療
 代理 產婆 關口悦子
 販理 部
 賣部 部

器灸温ムウチラ

定價表
 金拾參圓 藥及特効サマ五週間分付 上製桐箱入一揃
 金拾圓 藥及特効サマ五週間分付 上製桐箱入一揃 (説明書呈)

吉田眼科病院

平町屋町 電話六八番

明日の産業組合大会

一千四百名出席の豫定

表彰される功勞者と組合

既報本縣第二十一回縣下産業組合大会は明十七日午前九時より平町第三小學校講堂に

開催されるが當日は

農林省農務局長代理、大谷全國購買組合聯合會主事、辻産業組合中央會主事、縣からは産業組合中央會福島支會長、村井知事代理として赤土内務部長小林農林主事の諸氏が臨席する外縣下組合員千二百名の出席の豫定にて左記順序に依り開會される

△開會の辭△詔書捧讀△知事告辭△表彰△農務局長告辭△中央會頭告辭△來賓の祝辭△答辭△午後一時より協議△講演

午後四時閉會後博覽會を觀覽し續いて松ヶ岡公園に懇親宴を張り夜間は聚樂館に映畫の會を催すと

尙當日の 協議事項及び優良組員並びに同組合として知事より表彰されるのは左記の如くである

(協議事項)△本縣經濟界の現狀に鑑み産業組合の必行すべき事項△當大會繼續開催の件(銀盃授賞者)△石城郡江名信用購買販賣利用組理事大清

右工衛△耶摩郡長瀬信用購買販賣利用組理事事宮澤重明(組合表彰)河沼郡勝常信用購買販賣利用組合

十月月上旬

通水

湯本水道

石城郡湯本町の多年懸案であつた工費卅五萬圓の上水道工事は昨年十月着工以來幾多の難工事も滞りなく進捗し本年六月下旬頃は大半を完了し一般町民に通水されるのは十月月上旬の豫定である

救護費

資金

赤十字

平町羽岡平三郎氏は此程赤十字社福島支部救護費の資金として千圓二丁目關内庄一、研町吉村安治郎、川前村小野魯平、湯本町鈴木稻實、小名濱町金成嘉忠、内郷村杉山今朝吉の六氏は同じく各々二百圓宛を寄附した

鯉漁近づくと

山漁準備完了

鯉漁が近づき石城各濱は新造船が増加し江名濱等はは新造鯉漁船が連日二三隻宛船員雇入

更替等で 船員手帳の交付を受けてゐるが本年の鯉漁船の乗込員は語る「一隻につき三十名乃至大型になると四十五名も乗込むこれ等は船長、機關士その他特殊の無電技手等を除いて漁夫は一人一ヶ月食料は

商友會

總會開催

来る廿三日

平商友會役員は昨報の如く會長宅に於て會長谷口長治副會長室原光、會計菅本利雄其他役員二十數名の諸氏出席協議の結果来る二十三日午後一時より母校講堂に於て本年度總會を開催する事に決定其の席上に於て

モジモジの練習

平第一校の試み

平第二小學校にては本日から校内に室内用の電話機二臺を取り付け五年生以上に対し各々日割をきめて電話の掛け方を練習させる事になつた

勝つて歸る

平商の選手連

昨報平商業學校武道部選手は好間村古河炭礦々業所山神祭の武道大會に出場したが成績優良にて剣道部は優勝し柔道部選手は左の如き成績であつた

△三等佐藤忠雄
△四等大木繁

佐藤津田兩氏

歡送迎會

平第二小學校新任校長津田達造氏及元校長佐藤一氏の觀送迎會は来る十九日午後六時より住吉屋本店に於て會費二圓を以て開かれる

玉川女子平へ

石城郡玉川村女子青年團では明十七日團員の遠足を兼ね平町に至り博覽會、松ヶ岡公園等を見物する筈

憲飾競技

廿日に審査

いはき新報社主催第二回店頭並にウキンド裝飾競技大會は四月十六日より二十日まで審査を終了し午後七時より常盤銀行平支店樓上に於て審査員會を催す筈であるが參加商店及び審査員は左の如し

(參加者)山崎合名會社 常盤屋時計店 和久井屋 漆器店 ウシ子供洋服店 堀藥局 なかや洋服店 大谷時計店 丸ほん マルトモ書店 關内藥局 ツルヤ洋品店 モリタヤ 洋品店 マルカ書店 遠藤パン店 いづみや玩具店 大塚靴店 松月堂菓子店

(審査員)吉田利吉 加藤丈夫 鈴木邦三郎 諸橋久太郎 近藤廣記 酒井英吉 鯨岡久一郎 千葉彦治 加藤正保 藤田

中川教頭出張

磐城高等女學校校長代理中川完一氏は本日午前八時平發にて双葉中學創立十週年記念祝賀會に出席した

元郡長が

本縣下の平の花見 元郡長から成る明治會は来る十八日平町谷口樓において開催されるが在縣者は廿餘名で終つて昭和博覽會を見物する

平第二告別式

平第二小學校にては本日午前九時より講堂に於て今回轉任を命ぜられた佐藤一氏の告別會を催した

土木主任打合

平土木監督所管内各町村土木主任の打合會は十八日午後一時より団体事務所樓上に開會、本年度土木補助工事費外數件に就いて協議を行ふ

平職業紹介所報告

求人者の部
△食堂働 二十以下 尋卒
給料面談(平町某)
△自動車修繕見習 十六才
高卒 給料面談(平町某)
△小店員 十六才 尋卒
仕着小使(東京市下谷區某)
△桶漕徒弟 十七才位 高卒 仕着小使(平町某)
求人職の部
△女中 四十三才 高卒
給料面談(内郷村某)
△出前持四 十三才 讀書
し得給料面談(久之濱町某)
△雑夫 二十八才 高卒
給料面談(内郷村某)
△自動車修繕工 二十五才 高卒 給料面談(双葉郡木戸村某)

平町人事

回出 生
△仲間町二一加倉井一雄氏
△二女操
△磐城跡二〇藤花長治氏二女タカ子

敬老會

永戸で開催

石城郡永戸村では十九日同村小學校に村七十五才以上の老人を招待し敬老會を

磐城女校生徒

博覽會見學

磐城高等女學校等女學校にては各々組主任引卒の下に左の日割を以て博覽會を見學させると

佐藤氏へ贈る

記念品として 洋服ダンスを 平女子同窓會、平婦人會、女子青年團にては本日午後

十一小ぞろの申し立て

夜逃げは偽り

平署に一ツ杯食はず氣

驚いた悪智恵の發達

平町材木町十一居住深谷肉店賣子金章路(三)の次男誠(二)が兩親兄弟に置き去られ眼を泣き張らして

平署に 駆け込んだのを居合した搔搔小路の吉田廣三郎氏が同情し自宅へ連歸つた事は昨報の如くであるが其後判明した處に依れば前記の事情は全然真赤な偽りで現に兩親兄弟は材木町に居住して居り本紙の夕刊を見て非常に驚き直に平署に出頭誠の身柄引渡方を願出たがそれに依ると

兩親が逃げたと云ふ

朝誠は父親のいひ付けで深谷肉店へ肉の仕入に出掛けた際二十錢程着服した事が發覺した結果父に叱られるのを懼れ以前居住した事のある東京深川に逃走せんと計つたが旅費に窮し警察署より旅費をせしめんとしたものにて直ちに世話人の吉田氏方より身柄を引取つて家人に

引渡したが僅か十一歳の子供にしては悪智恵の發達さ加減に平署員も舌を巻いて驚いて居る

心の憂さの捨て處

松ヶ岡けふの賑ひ

春雨に風情を増した

櫻花の豪華版

松ヶ岡公園を始め新川端の櫻は正に亂れ咲いて

人々に 春や春を満喫せしめ様と絢爛を競つてゐる、昨日の煙る春雨も今日は名残りなく晴れ雨に惱まされた後の花は反つて風情を増して杖引く人を喜ばせけふの松ヶ岡は本年初めて

花の山らしい賑ひを見せた明日は日曜、櫻花は正に此の季節の豪華版たる観がある、浮世の苦をサラリと流して花下に群れ集ふ人々に依つて觀樂境は描き出さるべく

賣店の 色旗等ことの外景氣好く春風に翻つてゐる

水呑喧嘩

顔面に重傷

石城郡湯本町字八仙居住入山炭礦運搬夫田巻秋男(三)は昨十五日午後一時頃第四坑内で作業中喉が乾いたので坑内水槽場で水を飲まんとし居合した同町宇領城居住探炭夫佐藤秀(三)と水呑みを奪ひ合つて喧嘩となり

自殺するとの

遺書を殘す

玉川村の男が

磯原で人騒せ

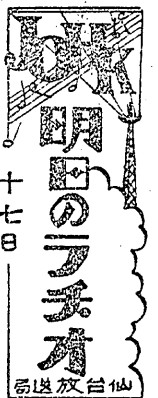
石城郡玉川村大字南富岡木炭商西丸才治(六)は十三日夜茨城縣多賀郡磯原町旅人宿藤田徳太郎方へ投宿十四日午前七時頃無断外出所在不明となつたが左記の遺書あり

兄才治が自殺したるを以て其の代り西次郎をなるべく丈夫ならしむる様是非取計はるべし右の通り堅く守るべし小生の死骸は石城郡玉川村大字南富岡西丸彌造方へ御通知下

情婦殺しの

公判は廿六日に

信夫郡生れ目下住所不定梅枝末藏(四)が石城郡錦村大字大倉に居住中同村本田西治の妻サツ(七)と懇ろになり駆落して信夫郡岡山村に



今晚は北西の風晴れ明日は午後には薄曇

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童謡と唱歌劇 長谷山雛菊音楽會員
- 後七、三〇 講演「經濟學者の觀たる黎明の滿洲國」上智大學教授ヨハネ・スクラウス
- 後八、〇〇 筑前琵琶「勿來」三好旭天
- 後八、三〇 新小唄「横濱」小芳「東京」丸山和歌子
- 田巻は傍にあつた二尺餘の松丸太にて佐藤の顔面を強打し全治三週間の傷害を負はしたので目下平署にて取調中

明日の部

- 前九、一〇 榮養料理「饗養研究所」
- 前九、三〇 子供の時間 お話「白鳥のお話」と其啼合せ「内藤重勝」
- 前一〇、〇〇 宗教講話

兩校身体検査

磐城 中學校及び高等女學校の本年度身体検査は左記の如く行はれると

- △磐城中學校 二十八日
- △磐城高等女學校 二十三日、二十四日の兩日

見物中に懐中の財布を紛失して

旅費に窮して歸宅が出来ぬ

双葉郡浪江町木炭商木村貞次(三)は目下開催中の木炭品評會並に博覽會を見物すべく妻キミ(三)と共に本日平町に來たり所々を見物中懐中に居た四十三圓餘入りの墓口が紛失して居るのを發見歸りの旅費に窮して平署に届出た

岡鷄賭博

處罰一束

石城郡湯本町字傾城雜貨商金澤辰之助(三)同石炭商竹澤勘四郎(三)内郷村大字宮支柱夫羽會部仙吾(三)同坑夫鷲谷安太郎(三)同支柱夫山田仙松(三)同ブリキ職太田留吉同吉田春男(三)同小田島勘次郎(三)同渡邊亥之

同棲中西治の爲め連れ戻されたサツの後を追ひ來り昨年十一月九日午後七時頃錦村大倉共同墓地にサツを誘ひ出し短刀を持つて殺害し

伊那町お時乙若外 後三、一五 俚謡 山崎庄一郎 三才外 後三、三〇 角力中繼「新與革新兩力士團對抗角力狀況」日比谷新音樂堂より中繼

後六、〇〇 子供の時間 童話劇「蜜蜂」京都人形庭大阪胡蝶座

後六、三〇 時事解説 大阪朝日新聞外報部長岡本鶴松

後八、〇〇 映畫物語「熊の出る開墾地」熊岡天堂 伴奏指揮男澤靖典

後八、三〇 清元「助六曲輪菊」清元梅王大夫外

後九、〇〇 連續講談「曉星五郎第三席」寶井琴凌

後九、三〇 奉天より

午前九時より平支部に於て開延せらるると

藏(三)渡邊政義(三)同鳥商松本幸一(三)同菓子行商古谷留吉(三)同鈴木治平(三)湯本町字上町土工永井七太郎(三)内郷村大字宮無職横田三吉(三)同坑夫金容奉(三)同坑夫本田一伊(三)坑夫藤湯源太郎(三)の十八名は昨年十二月二十二日内郷村宮澤山桃畑に於て軍鷄を使用し金錢を賭し岡鷄賭博を爲し留吉、亥之、辰之助、仙吾、勘四郎、喜男、安太郎、勘次郎、政義、幸一は罰金二十圓治平、三吉は科料十圓、古谷留吉、七太郎、金容、奉一伊、源太郎は科料十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

慕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

【第廿九話】

神影流の達人秋山要介

飛道具でねらふ

逸見多四郎は秋山要介の宿に來て盃を擧げ種々武藝の誤話を交換いたし明後日試合いたすと約して秋山の持つて來た看板を取受り道場に戻つた處が逸見の弟子には俠客が多い、その中で命知らずと云はれた腹の八五郎、秩父の周助、秋葉の三三、此奴等は寄居の虎五郎といふ俠客の身内です

八「オイ三三、周助、今度小川の先生の許へ江戸から秋山要介といふ奴が試合に來たさうだな」
三「ウンそんな事を聞いたよ」

八「看板を外して持つて行つたといふ事だが無法な野郎があるもんだな、其時俺達が道場に居たら頭の破片を拾はしたものを俺達の居ねえが彼奴の幸福だところだ逸見先生が秋山の居る小紅屋へ出かけて何も云はず看板を貰つて歸つたさうだが、先生も焼が廻つたな、俺ならば秋山を斬つてしまふ、弟子は打仆され、その上甲源一刀流指南と書いた看板を持つて行かれてお手は傷みにしませんかと此方から頭を下げて旅籠屋で

出て行くとは先生にも似合ぬ腰抜けな仕方だ、それに今度いよ／＼試合をするさうだからいふ様では試合には勝てねえ、先生が負ると秋山は諸方へ行つて逸見は弱い奴だ、あれが秩父の

三「そいつはよからう、總に勝負事は威勢がよくなければ勝てねえ、先生のやうに氣が怯けてゐれば勝目があつても通してしまふ、些とも早く秋山を引ッ張り出して殺つてしまへ」
といふと秩父の周助が周「まあ待ちな、こいつは難かしいよ」

周「そこだ、奴を引出すんだ」
八「引出すにしたところで出るやうな事がなければ引ッ張り出す事は出来なからう」
周「それに就いては茲に都合のよい事がある、秋山は元川越の松平大和守様の家來だ、其當時今寄居で名主をしてゐる新右衛門旦那は内弟子になつて劍術を習つたこともある、さういふ縁故があるから新右衛門旦那の迎ひだ、と云つて駕を持つて小紅屋に行き、そいつに乘せて伴れ出す事にしよう」

要「それでは此處へ通すとは成るまい、俺が行つて會つてやらう」
と店へ出て参ると門口に山駕籠が一挺下りてゐて駕舁は上り端に腰を掛けて茶を呑んで居ります
要「寄居の新右衛門が許から参つたのは貴様か」
駕「ハイ秋山先生でございませう、俺は新右衛門旦那から頼まれて参りましたが今度先生が此方にお在なるといふ事を知りましてお迎へに行つてくれと云はれました」

要「ウンさうか、何れ尋ねようとは思つてゐたが迎へに來たが幸これから参るであらう、手紙でも持つて來たか」
駕「イエそんな物は持つて参りません」
要「それでは新右衛門の奉公人は参つたであらう」
駕「イエ誰も附添者はございませぬ」
要「只籠のみかさうかよし



名物とは馬鹿な事だと吹聴するだらう、さうなれば先生一人の恥ではねえ、土地の恥にもなり、又俺達の恥にもなるだらう、試合を止め、先生に秋山の息の根を止めて、先生の恥ならねえやうにしようと思ふが主遂はどう思ふ」

處で先づ勝負はねえナ」
八「それではどうしたらいいか」
周「飛道具で殺つてしまふ」
八「成る程、そいつはよからう、秋山の泊つてゐる小紅屋へ鐵砲を射込むことは出事なからう」

要「悪い奴があつたもので三人は秋山を殺さうとその準備をした」
要介はこんな事とは知らず例の如く小紅屋に居て酒に浸つてゐると日の四時頃でしたが、下から女中が上つて來て
女「秋山先生寄居の名主様からの使でございませう」
要「オ、然うか、誰が参つた」
女「駕を持つて若衆が参りまして御座います」

要「それでは此處へ通すとは成るまい、俺が行つて會つてやらう」
と店へ出て参ると門口に山駕籠が一挺下りてゐて駕舁は上り端に腰を掛けて茶を呑んで居ります
要「寄居の新右衛門が許から参つたのは貴様か」
駕「ハイ秋山先生でございませう、俺は新右衛門旦那から頼まれて参りましたが今度先生が此方にお在なるといふ事を知りましてお迎へに行つてくれと云はれました」

お方入學進級の御用意

學生帽子。靴

ルセドンラ

總革製

七十八錢
九十錢
一圓卅錢
四圓廿錢

ヤルツ

電一四〇

皆三三三!!!

自動車は最新の三三三型!!!
車体番號は福島三三三番!!!
そして電話は三三三番へ

此度皆様の御愛顧と御後援を仰ぎタクシー部をもうけました。處女營業の事として地方皆様の御愛顧を得て進みたく従業員はヘビーを盡してサーピスあるのみです。車は御氣に召す様にと三三三年初春のトップを切つた最新型を整ひましたから是非お召し下さう。

一九三三車と車体番號に因み
三三三番の電話を御利用下さい
平町白銀町 加藤丈夫營業所

不二タクシー

主任 菅本 昇

度量衡、計量器、吸入器、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番